

令和3年度 第1回西脇市国民健康保険運営協議会会議録

1 開催年月日 令和3年7月28日（水）
2 開催場所 西脇市市民交流施設 つながるスタジオ
3 開会及び閉会時刻 開会 午後1時30分
閉会 午後3時
4 出席委員 池添正洋 委員
東田町子 委員
藤原栄子 委員
岡田康作 委員
大隅昭幸 委員
福永昌 委員
長井正彦 委員
齋藤周藏 委員
亀井礼子 委員
藤原珠美 委員
5 欠席委員 和田良勝 委員
藤井清孝 委員
6 会議録署名委員 長井正彦 委員
藤原珠美 委員
7 説明のため出席した者の職氏名
西脇市長 片山象三
くらし安心部長 高田洋明
保険医療課長 長井恵美
保険医療課保険担当主査 芦田周美
税務課長 藤井隆弘
税務課収税対策担当課長補佐 廣畑万紀

8 傍聴人 0名

9 会議に付した案件

(1) 報告事項

- ア 令和2年度西脇市国民健康保険特別会計決算について
- イ 令和3年度西脇市国民健康保険特別会計予算について
- ウ 国民健康保険税の状況について
- エ 国民健康保険被保険者証の更新状況について
- オ 医療費の状況について
- カ 特定健康診査・特定保健指導の実施状況について
- キ その他

(ア) 西脇市国民健康保険第二期データヘルス計画（令和2年度実績）

について

令和3年度第1回西脇市国民健康保険運営協議会会議録

発言者	記 事
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ○開会 ○会議成立の報告 <ul style="list-style-type: none"> ・委員2名欠席のため、本日の出席委員は10名。過半数以上の出席により会議は成立
会長	<ul style="list-style-type: none"> ○会長あいさつ <ul style="list-style-type: none"> ・委員の出席に対する謝意を述べる。 ・団塊ジュニア世代が高齢者となる2040年には、1.5人で1人の高齢者を支えることとなる。総医療費は平成の30年間で急激に伸びている。市が取り組んでいる健康寿命を伸ばす取組が必要である。 ・新型コロナウイルス感染症の対応について、医療従事者に対する敬意を払うとともに、私たち一人ひとりが感染拡大を防ぐ対策をとる必要がある。 ・本日の会議は、令和2年度決算、令和3年度予算などの報告事項を予定しているので、忌憚のない意見をお願いする。
市長	<ul style="list-style-type: none"> ○市長あいさつ <ul style="list-style-type: none"> ・委員の出席、国保運営への協力に対する謝意を述べる。 ・保険医代表委員に対して、新型コロナウイルス感染症の対応及びワクチン接種に対するお礼を述べる。 ・市民の方々へ新型コロナウイルス感染予防対策をお願いする。 ・今年度は新型コロナの影響を鑑み、国保税額を据え置きとした。 ・今月、国保税決定通知書を発送。大きな混乱なく推移している。 ・新型コロナウイルス感染症対応としては、感染された被用者被保険者への傷病手当金の支給、影響を受けたことで国民健康保険税の支払いが困難な世帯への減免制度の条例改正をし、今年度も引き続き実施する。 ・本日は、令和2年度決算、令和3年度予算など報告させていただくので、忌憚のない意見をお願いする。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ○公務により市長退席 ○出席職員の紹介 ○配付資料の確認 <p>(進行を事務局から会長へ交代)</p>

会長	<p>○会議録署名人選出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議録署名人に長井正彦委員と藤原珠美委員を指名
会長	<p>○報告事項 令和2年度西脇市国民健康保険特別会計決算について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局からの説明を求める。
事務局	<p>○説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度決算における歳入について、最終予算額と決算額との比較により説明する。 ・国民健康保険税は、7億9,264万7千円で、7,267万8千円の増であり、被保険者数及び収納率が当初予算時を上回ったことによる。 ・国庫支出金は、決算額804万8千円で、55万2千円の減である。 ・県支出金の普通交付金は、30億3,478万円で、6,860万3千円の減である。 ・県支出金、特別交付金のうち、がん検診、医療費通知、健康づくりの取組により交付される県繰入金2号分は、交付基準の見直しにより1,160万4千円の減で、県支出金合計の決算額は31億5,072万3千円である。 ・繰入金のうち、法定繰入は、3億6,719万7千円で、1,972万4千円の減、法定外繰入は、2,827万2千円で、774万8千円の減である。 ・令和2年度決算における歳出について、総務費は、8,872万6千円で、前年度比92万1千円減少である。 ・保険給付費は、30億1,168万9千円で、前年度比8,106万9千円の減少である。被保険者数の減が要因である。 ・事業費納付金は、11億4,265万2千円で、前年度比1,667万円の減で、兵庫県に納付した。被保険者の保険給付、後期高齢者の医療費、介護保険2号保険料に充てられる。 ・保健事業費は、2,966万2千円で、前年度比622万3千円の減である。特定健康診査の受診率低下が要因である。 ・諸支出金は、3,777万8千円で、精算による過年度の国、県支出金等返還金の減が要因である。 ・歳入合計の決算額は、44億459万9千円、歳出合計の決算額は、43億1,079万円となり、歳入歳出差引額は、9,380万9千円となる。 ・歳入歳出差引額のうち、財政調整基金へ4,700万円を積み立て、翌年度へ4,680万9千円を繰り越した。 ・財政調整基金の残高は、5億8,617万2千円となっている。 ・国民健康保険加入状況について、世帯数は、令和2年度5,169世帯令和3年度5,094世帯で75世帯の減少を見込んでいる。被保険者数は、令和2年度8,044人、令和3年度7,874人で170人の減少を見

	<p>込んでいる。被保険者加入率は、年々下がり、令和3年度 19.84%を見込んでいる。</p> <p>○意見、質疑等（なし）</p>
会長	<p>○報告事項 令和3年度西脇市国民健康保険特別会計予算について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局からの説明を求める。
事務局	<p>○説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度予算について、歳出を中心に、その財源とあわせて説明する。 ・総務費は、9,140万7千円で、前年度比 1,422万1千円の減少である。国保システムの改修費用、人件費の減及び被保険者証の郵送方法変更に伴う通信運搬費の減が要因である。 ・保険給付費は、32億6,719万7千円で、前年度比 2億9,384万3千円の増加である。一人当たりの保険給付費の増加が要因である。 ・国民健康保険事業費納付金は、11億2,650万円で、前年度比 1,615万3千円の減少である。事業費納付金の主な財源は、国民健康保険税であり、その他は軽減世帯に係る保険税収入相当額の一般会計繰入金や県支出金である。 ・被保険者一人当たりの国民健康保険事業費納付金は、医療給付費分は算定方法の見直しで減少、後期高齢者支援金分及び介護納付金分は増加している。 ・保健事業費は、4,478万7千円で、特定健康診査や特定保健指導、医療費通知発送や人間ドックの費用助成等に充てる。財源は、特定健診等事業費については、補助対象額の1/3を国、1/3を県が補助し、残額を市の一般会計繰入金を充てる。保健事業費については、国民健康保険税が主な財源となる。 ・歳入歳出額は、45億5,306万2千円であり、前年度比 1億149万円の増額予算となっている。 <p>○意見、質疑等（なし）</p>
会長	<p>○報告事項 国民健康保険税の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局からの説明を求める。
事務局	<p>○説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度の国民健康保険税額については、新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み据え置きとした。 ・当初賦課の状況について、被保険者一人当たりの賦課基準額は4.24%減少となり、軽減世帯の割合、課税限度額超過世帯の割合も前年度と大きな差はない。 ・新型コロナウイルス感染症の影響の現れ方を考察する必要がある。

	<ul style="list-style-type: none"> ・医療分、後期支援分の一世帯当たりの調定額は、134,191円、一人当たりの調定額は、87,357円となっている。介護分の一世帯当たりの調定額は、32,754円、一人当たりの調定額は、27,849円となっており前年度比で減少している。 ・令和2年度の収納状況について、現年度分は、調定額7億7,654万2,300円に対し、収入額7億3,836万211円で、収納率は95.08%である。 ・滞納繰越分は、調定額2億6,643万6,105円に対し、収入額5,428万6,622円で、収納率は20.38%である。 ・合計では、収納率76%、前年度比4.86ポイント上昇となっており、税務課による収納率向上対策への取組の成果と考える。 ・北播磨5市1町における一人当たり調定額の比較では、西脇市は4番目の位置にある。 ・新型コロナウイルス感染症の影響による国保税の減免については、昨年度60世帯を決定、今年度は10世帯程度の申請を受け付けている。 <p>○意見、質疑等（なし）</p>
会長 事務局	<p>○報告事項 国民健康保険被保険者証の更新状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局からの説明を求める。 <p>○説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年6月30日現在の被保険者証の交付状況では、加入世帯数5,188世帯のうち、被保険者証交付世帯は4,736世帯、残る452世帯には、納税相談等の結果、1～12か月の短期被保険者証を交付している。 ・令和3年6月30日現在の交付状況では、加入世帯数5,107世帯のうち、被保険者証交付世帯は4,768世帯、短期被保険者証の交付世帯数は339世帯で、前年と比較し113世帯減少している。 ・1か月証の交付世帯数が92世帯で、前年と比較し21世帯増加している。 ・1年以上国保税の納付がない10世帯に対して資格証明書を交付している。 ・未交付世帯が27世帯あり、納付相談等の折衝機会を設けていくことが課題であると認識している。 ・短期被保険者証等が交付されている世帯のうち、高校生29人、中学生以下78人には、被保険者証の交付止めはせず、6か月証で更新している。 <p>○意見、質疑等（なし）</p>

会 長	<p>○報告事項 医療費の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局からの説明を求める。
事務局	<p>○説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度は、前年度と比較して、入院、歯科、調剤の一人当たり費用額は減少、外来、訪問看護療養費は増加している。 ・令和2年度の一人当たり費用額は431,967円で、前年度比8,109円減少している。 ・北播磨5市の医療費の状況では、本市が1番高い状況である。 ・医療費が増えると、被保険者には、医療機関での自己負担額の増と、保険給付の財源となる国保税額の負担増の二重の負担増をお願いすることとなる。生活習慣病の重症化予防等への取組強化が急務であると感じている。
会 長	<p>○報告事項 特定健康診査・特定保健指導の実施状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局からの説明を求める。
事務局	<p>○説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健康診査について、令和2年度の対象者6,528人に対して、受診者合計が2,142人となり、受診率は32.8%、前年度より低下する見込みである。 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い健診実施を延期したことや、被保険者の受診控えにより低下したと考える。 ・昨年度は、健診の案内チラシの内容をポジティブメッセージに変更し送付した。また、過去の健診受診状況や生活習慣病の罹患状況により未受診者をセグメントに分け、印字情報を変えた勧奨はがきを送付した。今年度も昨年度と同様に、勧奨はがきと電話や訪問による勧奨をうまく組み合わせて、実施していくみたいと考えている。 ・今年度は、ICTを活用した健幸ポイント制度を充実する。 ・特定保健指導について、令和2年度の対象者250人に対して利用者合計が78人となり、実施率は31.2%となっている。 ・令和2年春の健診延期により、保健指導の期間が十分確保できず、実施率が低下している。 ・特定保健指導対象者が、兵庫県の平均を上回り年々増加している。 ・特定健康診査や特定保健指導の受診率、実施率向上や健康意識の啓発等は、疾病予防や早期発見につながり、将来的な医療費抑制につながる。今後も積極的に取り組んでいきたいと考えている。 ・健幸運動教室について説明する。 ・フレイル及び生活習慣病の予防には、運動が効果的であることは科学的根拠で示されている。 ・運動習慣を定着させるため、健幸運動教室Ni-Coを実施している。

	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度参加された方では、体力年齢の若返りや歩数増加による血圧や血糖値の変化が見られている。 ・今年度は、市民交流施設オリナスをメイン会場に 380人を対象に実施する。 <p>○意見、質疑等（なし）</p> <p>○その他</p> <p>・事務局からの説明を求める。</p> <p>○西脇市国民健康保険第二期データヘルス計画（令和2年度実績）について</p>
会長	<p>○説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度の外来における医療費上位5疾病は、糖尿病、高血圧症、透析治療のある慢性腎不全、関節疾患、脂質異常症で、糖尿病、慢性腎不全の医療費が前年度より増加している。 ・入院における医療費では、上位5疾病は、統合失調症、骨折、脳梗塞、不整脈、うつ病で、骨折、脳梗塞、不整脈の医療費が前年度より増加している。 ・外来におけるレセプト件数では、上位5疾病は、高血圧症、脂質異常症、糖尿病、関節疾患、うつ病であり、いずれも兵庫県の平均を上回っている。 ・生活習慣病における被保険者 1,000人当たりのレセプト件数では、筋・骨格疾患、糖尿病、がんのレセプト件数が増加傾向で、それぞれフレイル予防、重症化予防、がん検診への勧奨が必要である。 <p>○意見、質疑等（なし）</p>
事務局	<p>会長</p> <p>・保険者努力支援制度について説明をお願いする。</p> <p>○説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保険者努力支援交付金は、保険者が実施する医療費適正化に向けた取組に対して交付されるものである。 ・令和3年度の交付額は 1,805万5千円となっている。 ・評価指標は12項目あり、特定健康診査、特定保健指導、がん検診の受診率や国保税収納率で得点できていない状況である。 ・今年度は、点が得られていない指標の実績を上げることと、新たな評価指標で得点できるよう見直しを行う予定である。 ・当該交付金は、県へ納付する事業費納付金の財源となるものであり、保険税徴収額を引き下げることができる。取組は、医療費増加の抑制や被保険者の健康寿命延伸にも繋がるので、関係課と協力取り組んでいく。 <p>○意見、質疑等（なし）</p>

会長	<input type="radio"/> 閉会
----	--------------------------